

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施策	①企業等による研究開発、販路開拓、人材育成等の促進
			施策の小項目名	○医薬品、機能性食品等の研究開発の推進やバイオベンチャー企業等の集積
主な取組	製品・技術開発による事業化支援		対応する成果指標	バイオベンチャー企業数
施策の方向	・本県の地域特性や生物資源を生かした医薬品、機能性食品等の研究開発を推進し、バイオ・医療分野の高度化・多様化するニーズに対応するバイオベンチャー企業等の集積に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
バイオ関連分野の産業化を促進するため、県内のバイオ関連企業等が有する技術等の事業化に向けた技術開発等の支援を行う。	県	健康・医療・バイオ関連分野の実用化支援等		
		支援件数(累計)		
		3件	3件(6件)	3件(9件)
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課 【 098-866-2337 】		関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	バイオ関連産業事業化促進事業			予算事業名	バイオ関連産業事業化促進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	補助		186,384	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	補助	176,389
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
県内バイオ関連企業による製品化・事業化を目指す技術開発等の事業を補助金にて支援した。				県内バイオ関連企業による製品化・事業化を目指す技術開発等の事業を補助金にて支援する。		

活動指標名	支援件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	-	-	8件	3件	100.0%	順調	県内バイオ関連企業が実施する製品化・事業化等に向けた技術開発等を行う事業を公募し、8件の事業を補助金で支援した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

「健康・医療・バイオ関連分野の実用化支援件数」の目標値「3件」に対し、実績値「8件」であることから、順調と判断した。各企業が実施する技術開発等を支援したことで、事業化に向けた取組を促進できた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
	支援先の選定に関しては、外部有識者の意見を踏まえて審査を行ったことで、事業化等が期待できる支援先を選定することができた。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	支援事業の進捗状況から製品化・事業化のために必要な支援を検討し、資金などの資源配分や支援の継続等を判断する必要がある。	① 執行体制の改善	外部有識者等から構成される評価委員会において、必要な支援内容(資金などの配分)や事業の継続等について評価した上で事業を実施する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施策	①企業等による研究開発、販路開拓、人材育成等の促進
			施策の小項目名	○医薬品、機能性食品等の研究開発の推進やバイオベンチャー企業等の集積
主な取組	健康食品ブランド力強化		対応する成果指標	バイオベンチャー企業数
施策の方向	・本県の地域特性や生物資源を生かした医薬品、機能性食品等の研究開発を推進し、バイオ・医療分野の高度化・多様化するニーズに対応するバイオベンチャー企業等の集積に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
県産健康食品のブランド力を強化し販路拡大等を図るため、沖縄県独自の認証制度のプロモーションや機能性食品開発支援、県産素材のエビデンス調査・活用支援等を行う。	県	機能性食品開発等の支援			
		エビデンス活用件数(累計)			
		3件	3件(6件)	3件(9件)	
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課		【 098-866-2337 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	健康食品ブランド力強化普及支援事業			予算事業名	健康食品ブランド力強化普及支援事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	38,342	25,858	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	23,748
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
認証制度のプロモーションや機能性食品開発のハンズオン支援、県産素材のエビデンスの活用支援を実施した。				認証制度のプロモーションや機能性食品開発のハンズオン支援、県産素材のエビデンスの活用支援を実施する。		

活動指標名	エビデンス活用件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	1件	3件	5件	3件	100.0%	順調	認証制度申請及び機能性表示食品届出に関する支援で当事業で作成したエビデンスを5件活用した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

「エビデンス活用件数」の目標値「3件」に対し、実績値「5件」であることから、順調と判断した。認証制度申請及び機能性表示食品届出に関する支援を実施することで県産健康食品のブランド力強化につながった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
認証商品開発等へのハンズオン支援、ブランド認証制度の認知度向上や企業の参画促進、認証商品の売上げ増加に繋がるプロモーション等の取組に対し支援を行う。	相談窓口を通して上がってきた認証制度や商品開発等に関する相談に対して課題に応じた支援を実施した。認証制度の認知度向上及び認証商品の売上げ増加については、展示会出展や県内2紙への新聞広告、認証制度ホームページの改修等のプロモーション活動を行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	ブランド認証制度の安定した運用のため、商品開発等のハンズオン支援により認証商品を増やす必要がある。	⑧ その他	展示会出展や健康関連団体との連携等を実施し認証制度のプロモーション活動を強化する。引き続き、認証制度申請及び機能性表示食品届出に関する支援、県産素材のエビデンス活用支援を実施する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施策	①企業等による研究開発、販路開拓、人材育成等の促進
			施策の小項目名	○医薬品、機能性食品等の研究開発の推進やバイオベンチャー企業等の集積
主な取組	沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター及び沖縄バイオ産業振興センターの運営		対応する成果指標	バイオベンチャー企業数
施策の方向	・本県の地域特性や生物資源を生かした医薬品、機能性食品等の研究開発を推進し、バイオ・医療分野の高度化・多様化するニーズに対応するバイオベンチャー企業等の集積に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター及び沖縄バイオ産業振興センターの施設、設備を適切に管理・運営するとともに、バイオ関連企業の研究開発や研究成果の事業化、製品化を支援する。	県	研究室及び研究機器の貸与、入居企業へのハンズオン支援			
		レンタルラボ提供室数(水回りが整備された室数)(内訳)			
		36室	38室(新規2室、継続36室、累計38室)	40室(新規2室、継続38室、累計40室)	
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課		【 098-866-2337 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター事業・管理運営事業			予算事業名	沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター事業・管理運営事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	委託	47,301	47,075	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	委託	76,518
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
16室（全16室、全室水回り整備有）に入居があった。また、122件の相談等に対応した。				入居は16室、相談等は160件に対応する。		
予算事業名	沖縄バイオ産業振興センター事業・管理運営事業			予算事業名	沖縄バイオ産業振興センター事業・管理運営事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	委託	8,233	19,248	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	委託	27,558
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
19室（全31室、水回り整備有19室（R4年度新規3部屋整備））に入居があった。また、124件の相談等に対応した。				新規3部屋の水回り整備を実施し、入居は25室、相談等は160件に対応する。		

活動指標名	レンタルラボ提供室数（水回りが整備された室数）（内訳）		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	-室	-室	35室	36室	97.2%	順調	バイオセンターは施設設備や研究機器の修繕5件（8,340千円）実施。振興センターは施設設備の修繕6件（7,792千円）及び3部屋の水回り整備（11,000千円）を実施。（修繕件数は500千円以上）

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>令和4年度、新たに3部屋の水回り整備を振興センターにて実施したことで、水回りが整備された室数はバイオセンターと合わせて全35室となった。水回りを整備することでバイオ関連企業から入居希望の問い合わせも増えており、水回り整備有の部屋はほぼ入居が決まっている。</p>	
<p>(2) これまでの改善案の反映状況</p>	
令和4年度の取組改善案	反映状況
	<p>工事入札を2/4半期に実施することで工期を確保し、年度内に水回り整備工事を完了することができた。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	<p>バイオ関連企業の研究開発推進及び集積に取り組むため、水回りが整備されていない居室には、研究開発を行うために必要な水回り整備を進める必要がある。</p>

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
① 執行体制の改善	<p>県債を活用するなど、財源確保に工夫を図りながら、水回り整備を進める。</p>

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施策	①企業等による研究開発、販路開拓、人材育成等の促進
			施策の小項目名	○研究開発から事業化までのバリューチェーン構築
主な取組	ネットワークの構築		対応する成果指標	バイオベンチャー企業数
施策の方向	<p>・県内において、バイオ関連企業や研究機関等とのネットワークを構築し、地域一体となった研究成果等の情報発信を行い、活動の見える化・ブランド化に取り組みます。国内外のバイオ関連ネットワークと連携を図ることで、人材及び民間投資を誘引するとともに、研究開発から事業化まで一連の流れの中で価値を生み出すバリューチェーンの構築に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
バイオ関連企業や大学等研究機関、支援機関、金融機関等の関係機関による、事業化・共同研究・企業マッチング・資金調達等を推進するために県内外の関係機関による連携体制(ネットワーク)の構築に取り組む。	県,事業者,大学等	県内外のバイオ関連ネットワークの構築		
		会議等の開催又は参加件数(累計)		
		4件	4件(8件)	4件(12件)
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課 【 098-866-2337 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	バイオコミュニティ運営事業			予算事業名	バイオコミュニティ運営事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	委託		10,366	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	委託	9,350
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
県内外の関係機関64機関が参画する「沖縄バイオコミュニティ」を形成し、地域一体となって情報を発信し、県内外の機関等と交流機会を創出した。				県内外の関係機関と連携を強化し、ネットワークを通じた情報発信、企業マッチング、事業化支援等を実施し、参画機関の課題解決に取り組む。		

活動指標名	会議等の開催又は参加件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		-件	-件	4件	4件	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

「県内外のバイオ関連ネットワークに係る会議等の開催または参加件数」の目標値「4件」に対し、実績値「4件」であることから、順調と判断した。県外の関係機関に対し、情報発信および関係機関と連携したことで、参画機関の課題解決のためのネットワークを構築でき、事業化支援の推進につながった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
	全国のバイオコミュニティ関係者の会議等に積極的に参加し、意見交換および情報共有の場を多く創出する活動を実施した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	沖縄バイオコミュニティ参画機関の連携強化を図るためのコミュニティ連絡会議等を開催する必要がある。	② 連携の強化・改善	沖縄バイオコミュニティの連携強化、課題解決の促進のため、毎年1回以上連絡会議等を実施する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施策	①企業等による研究開発、販路開拓、人材育成等の促進
			施策の小項目名	○研究開発から事業化までのバリューチェーン構築
主な取組	地域一体となった研究成果等の情報発信		対応する成果指標	バイオベンチャー企業数
施策の方向	<p>・県内において、バイオ関連企業や研究機関等とのネットワークを構築し、地域一体となった研究成果等の情報発信を行い、活動の見える化・ブランド化に取り組みます。国内外のバイオ関連ネットワークと連携を図ることで、人材及び民間投資を誘引するとともに、研究開発から事業化まで一連の流れの中で価値を生み出すバリューチェーンの構築に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
<p>県内バイオ関連企業の事業化・事業拡大を促進するため、バイオコミュニティが地域一体となって研究成果の情報発信や販路開拓等に取り組み、新たな事業や研究のマッチングを促進する。</p>	<p>県,事業者,大学等</p>	<p>県内バイオ関連企業・大学等の技術・研究成果等の情報発信</p>		
		<p>情報発信件数(ピッチコンテスト、展示会への参加等)(累計)</p>		
		3件	6件(9件)	6件(15件)
担当部課【連絡先】	<p>商工労働部ものづくり振興課 【 098-866-2337 】</p>		関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	バイオコミュニティ運営事業			予算事業名	バイオコミュニティ運営事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	委託		10,366	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	委託	9,350
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
県内外のイベントに参加し、沖縄バイオコミュニティの地域一体となった情報発信を行い、県内企業の事業化を推進した。				バイオコミュニティとして、情報発信、企業マッチング、事業化支援等を実施し、参画機関の事業化等に関する課題解決に取り組む。		

活動指標名	情報発信件数 (ピッチコンテスト、展示会への参加等) (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	-件	-件	8件	3件	100.0%	順調	展示会6件、投資家等へのプレゼン(ピッチコンテスト)2件に参加し、県内外の関係機関に対してバイオコミュニティ参画企業の情報発信を行った。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>「県内バイオ関連企業・大学等の技術・研究成果等の情報発信件数」の目標値「3件」に対し、実績値「8件」であることから、順調と判断した。地域一体となった情報発信により、県内外の関係機関と連携を強化することができ、バイオ関連企業の事業化の推進につながった。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
	<p>ピッチコンテスト及び展示会への参加を通じて、県内外の投資家や企業等とのマッチングを促進するために情報交換の機会を多く創出する活動を実施した。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	<p>バイオコミュニティ参画企業における効果的な情報発信を支援するため、共通課題の把握が必要である。</p>

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	<p>参画企業にアンケートや聞き取りを行い、課題や企業の成長段階・分野ごとに情報を収集・整理することで、情報発信に係る取り組みの改善を図る。</p>

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施策	①企業等による研究開発、販路開拓、人材育成等の促進
			施策の小項目名	○研究開発から事業化までのバリューチェーン構築
主な取組	経営のハンズオン支援		対応する成果指標	バイオベンチャー企業数
施策の方向	<p>・県内において、バイオ関連企業や研究機関等とのネットワークを構築し、地域一体となった研究成果等の情報発信を行い、活動の見える化・ブランド化に取り組みます。国内外のバイオ関連ネットワークと連携を図ることで、人材及び民間投資を誘引するとともに、研究開発から事業化まで一連の流れの中で価値を生み出すバリューチェーンの構築に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
バイオ関連企業の事業化・事業拡大を促進するため、支援機関による資金調達や販路開拓、人材確保等の経営面での支援を実施し、企業が抱えるさまざまな経営課題の解決に取り組む。	県	県内バイオ関連企業へ事業化・事業拡大に向けた経営支援			
		経営支援件数(累計)			
		10件	10件(20件)	10件(30件)	
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課		【 098-866-2337 】	関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	バイオ関連企業経営支援事業			予算事業名	バイオ関連企業経営支援事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託		40,284	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	35,063
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
<p>公募により選定した支援企業に対して、資金調達の際に必要な事業・資金計画作成のハンズオン支援を実施した。</p>				<p>各企業の成長段階に合わせて、販路開拓支援や資金調達等の経営に関する課題解決支援を行う。</p>		

活動指標名	経営支援件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	-件	-件	17件	10件	100.0%	順調	<p>公募により選定した支援企業17社に、県内外の関係機関に対して情報発信の支援を実施したほか、企業マッチング支援、事業・資金計画作成支援等を実施し、企業経営の改善につながった。</p>

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

「県内バイオ関連企業へ事業化・事業拡大に向けた経営支援件数」の目標値「10件」に対し、実績値「17件」であることから、順調と判断した。各企業の経営課題に則した支援を実施したことで、企業経営の改善や事業化の加速につながった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
-	<p>支援企業のニーズを把握するために、ヒアリングを実施し、企業の成長段階および現状の課題を分析し、支援内容に反映させることで経営課題の改善および事業化を促進した。</p>

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	支援企業の要望と支援内容にずれが生じたため、企業の要望に応じた支援方法を検討する必要がある。	④ 創意工夫による取組の改善 (合理化・効率化)	令和5年度の支援開始時に、ヒアリングや面談等を行い、支援企業の要望等を把握し、効果的な支援の実施に取り組む。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施策	①企業等による研究開発、販路開拓、人材育成等の促進
			施策の小項目名	○研究や事業化を担う人材の育成
主な取組	研究開発を担う人材育成の講座・研修等		対応する成果指標	バイオベンチャー企業数
施策の方向	・大学等と連携して講座や技術研修等を実施し、バイオ・医療関連産業等において求められる研究人材や事業化を担う人材等の育成に取り組まします。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
本県の健康・医療関連産業におけるバイオデータの活用促進のため、バイオテクノロジーにAI/IT技術等の情報科学技術を活用するための人材育成を行う。	県	バイオインフォマティクス人材育成の講座・研修の開催			
		講座受講者数(累計)			
		30人	30人(60人)	30人(90人)	
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課		【 098-866-2337 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	健康・医療データサイエンス人材育成事業			予算事業名	健康・医療データサイエンス人材育成事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	14,734	18,763	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	23,343
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
人材育成プログラムによる講座や課題研究を実施した。				人材育成プログラムによる講座や課題研究を実施する。		

活動指標名	講座受講者数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		71人	76人	50人	30人	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

「講座受講者数」の目標値「30名」に対し、実績値「50名」であることから、順調と判断した。講座の実施により、バイオデータの活用ができる人材の育成につながった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
受講者のアンケート調査などを参考に、自主学習用のテキスト・コンテンツを充実させ、受講者の理解を高める人材育成プログラムを引き続き実施する。	基礎講座はオンライン開催とし、講座終了後もオンデマンド方式で受講できるようにした。講座の理解度・難易度等の調査のため毎講座後にアンケート調査を行い、集計結果を後の講座に反映させた。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	令和2年度及び令和3年度と比較して、講座受講者数は減少傾向にある。令和6年度の目標である累計90名を達成するためには、受講者数を維持・増加させる取組が必要である。	⑧ その他	事業の取組について周知活動を行う。受講者へのアンケート調査を引き続き実施し、本講座への要望や課題を抽出し、今後の講座の改善に取り組む。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施策	①企業等による研究開発、販路開拓、人材育成等の促進
			施策の小項目名	○研究や事業化を担う人材の育成
主な取組	事業化を担う人材育成の講座・研修等		対応する成果指標	バイオベンチャー企業数
施策の方向	・大学等と連携して講座や技術研修等を実施し、バイオ・医療関連産業等において求められる研究人材や事業化を担う人材等の育成に取り組まします。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
バイオ関連企業の事業化・事業拡大を促進するため、企業経営に必要な人材育成(講座や技術研修等)に取り組む。	県	経営に関するテーマの人材育成の講座・研修の開催		
		講座受講者数(累計)		
		20人	20人(40人)	20人(60人)
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課 【 098-866-2337 】		関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	バイオ関連企業経営支援事業			予算事業名	バイオ関連企業経営支援事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託		40,284	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	35,063
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
<p>公募により選定した支援企業に対して、経営人材育成に関するテーマ（経営戦略、資本戦略等）のセミナーを実施した。</p>				<p>支援企業に対して、各企業の成長段階に即した経営人材育成に関するテーマのセミナーを継続的に実施する。</p>		

活動指標名	講座受講者数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	-人	-人	70人	20人	100.0%	順調	支援企業に対して、経営に関するテーマ（4種）のセミナーを5回実施し、70名以上が受講した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

「経営に関するテーマの人材育成の講座受講者数」の目標値「20名」に対し、実績値「累計70名」であることから、順調と判断した。経営人材育成に必要な知識を蓄えることで、各企業における企業経営の改善につながった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
-	企業の課題解決のために、共通課題と考える4種のセミナーを実施した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	企業の理解度や要望にばらつきがあるため、経営支援プログラムや企業の要望に対応する支援体制の検討が必要である。	④ 創意工夫による取組の改善 (合理化・効率化)	各支援企業の要望に合わせた支援について検討するほか、支援企業の要望を確認し、課題解決につながるセミナーを実施する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施策	②先端医療分野における実用化の促進
			施策の小項目名	○研究開発や臨床試験等の支援
主な取組	先端医療技術の実用化に向けた技術開発支援		対応する成果指標	臨床試験等実施件数(累計)
施策の方向	・再生医療や遺伝子治療等の先端医療分野において、これまでの研究開発の成果を生かし、また、国内外の動向を注視しながら産業利用等の観点を踏まえ、実用化を見据えた研究開発や臨床試験等の支援に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
バイオテクノロジーを活用した先端医療分野の産業化を促進するため、県内のバイオ関連企業等が実施する先端医療技術の実用化に向けた技術開発等の支援を行う。	県	先端医療技術の実用化に向けた技術開発等支援の実施			
		研究開発支援件数(累計)			
		4件	4件(8件)	4件(12件)	
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課		【 098-866-2337 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	バイオ関連産業事業化促進事業			予算事業名	バイオ関連産業事業化促進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	補助		186,384	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	補助	176,389
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
県内のバイオ関連企業等が実施する先端医療技術の実用化に向けた技術開発等の支援を行った。				県内のバイオ関連企業等が実施する先端医療技術の実用化に向けた技術開発等の支援する		

活動指標名	研究開発支援件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	—	—	3件	4件	75.0%	概ね順調	県内バイオ関連企業が実施する先端医療技術の実用化に向けた技術開発を行う事業を公募し、3件の事業を補助金で支援した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

先端医療技術の実用化に向けた「研究開発支援件数」の目標値「4件」に対し、実績値「3件」であったことから進捗は概ね順調と判断した。各企業が実施する先端医療技術の技術開発等を支援したことで、実用化に向けた取組を促進できた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
—	支援先の選定に関しては、外部有識者の意見を踏まえて審査を行ったことで、事業化等が期待できる支援先を選定することができた。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	支援事業の進捗状況から製品化・事業化のために必要な支援を検討し、資金などの資源配分や支援の継続等を判断する必要がある。	① 執行体制の改善	外部有識者等から構成される評価委員会において、必要な支援内容(資金などの配分)や事業の継続等について評価した上で事業を実施する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施策	②先端医療分野における実用化の促進
			施策の小項目名	○経営課題の解決支援
主な取組	先端医療の事業化・事業拡大に向けた経営支援		対応する成果指標	臨床試験等実施件数(累計)
施策の方向	・事業化及び事業拡大に向けた経営課題の解決等に向けても取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
バイオ関連企業(先端医療分野)の事業化・事業拡大を促進するため、支援機関による資金調達や人材確保等の経営面での支援を行い、企業が抱える様々な経営課題の解決に取り組む。	県	先端医療の事業化・事業拡大に向けた経営支援の実施			
		経営支援件数(累計)			
		4件	4件(8件)	4件(12件)	
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課		【 098-866-2337 】	関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	バイオ関連企業経営支援事業			予算事業名	バイオ関連企業経営支援事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託		40,284	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	35,063
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
企業が県内外の関係機関に対して、情報発信を行う支援を行ったほか、企業への面談を行い、経営課題の解決に取り組んだ。				企業の成長段階に合わせて、販路開拓の支援や資金調達等の経営に関する課題解決支援を行う。		

活動指標名	経営支援件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	-件	-件	6件	4件	100.0%	順調	支援企業6社に情報発信の支援を行ったほか、企業への面談を通じた事業・資金計画作成支援を実施したことで、企業経営の改善につながった。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

「先端医療の事業化・事業拡大に向けた経営支援件数」の目標値「4件」に対し、実績値「6件」であることから、順調と判断した。各企業の経営課題に則した支援を実施したことで、企業経営の改善や事業化の加速に繋がった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
-	支援企業の経営課題解決支援として、共通課題と考えるセミナーを実施したほか、セミナー後の個別相談の実施などフォローアップを実施し、経営課題解決のためのノウハウが蓄積するよう活動した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	企業の要望にばらつきがあるため、経営支援プログラムや企業の要望に対応する支援体制の検討が必要である。	④ 創意工夫による取組の改善 (合理化・効率化)	各支援企業の要望に合わせた支援について検討するほか、支援開始時期に、ヒアリングや面談等を行い、効果的な支援の実施に取り組む。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施策	②先端医療分野における実用化の促進
			施策の小項目名	○経営課題の解決支援
主な取組	先端医療関連の情報発信		対応する成果指標	臨床試験等実施件数(累計)
施策の方向	・事業化及び事業拡大に向けた経営課題の解決等に向けても取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
バイオ関連企業(先端医療分野)が有する技術等の事業化を促進するため、先端医療分野における県内バイオ関連企業の取組について情報発信を行う。	県	先端医療関連の研究成果、取組等の情報発信			
		報告会の開催件数(累計)			
		1回	1回(2回)	1回(3回)	
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課		【 098-866-2337 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	バイオ関連企業経営支援事業			予算事業名	バイオ関連企業経営支援事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託		40,285	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	35,063
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
企業が県内外の関係機関等に対して情報発信を行う支援を行い、先端医療分野の技術開発の連携促進や販路開拓の取組を支援した。				先端医療分野の技術等の事業化を促進するため、企業の技術開発の状況等を広く情報発信するための機会提供を支援する。		

活動指標名	報告会の開催件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
		—	—	1回	1回	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

先端医療関連の研究成果、取組の情報発信のための「報告会の開催件数」の目標値「1回」を達成したため、進捗状況は順調と判断した。今後の技術開発の連携や事業化を見据えた販路開拓等の推進につながった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
	効果的な情報発信を行うため、多くの関係者が集まるイベント (展示会) を選定し情報発信を行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	販路開拓等を目的とする情報発信については、様々な機会をとらえて行うことが効果的であるため、情報発信の機会を増加させる取組が必要である。	⑧ その他	企業の技術開発等の段階に応じて、情報提供する対象者を検討し、適切な情報発信の機会を継続的に提供できるよう支援する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施策	③健康・医療分野を軸とした産業拠点の形成
			施策の小項目名	○関係機関との連携や産業拠点の整備
主な取組	バイオ関連施策等の情報発信		対応する成果指標	バイオ関連企業等の企業数
施策の方向	・高付加価値な製品開発やサービス提供の可能性が期待される健康・医療分野のバイオ関連産業については、バイオベンチャー企業をはじめ研究機関や医療機関等と連携し、IT・物流等の周辺産業も含め、研究開発から製造販売まで一連で事業展開が可能な機能等を有した産業拠点の整備に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
県が推進する健康・医療分野のバイオ関連企業の事業化・事業拡大を促進するため、企業等の研究成果の情報発信に取り組み、産学医の連携を構築する。	県	県内バイオ関連企業、関連施策の情報発信			
		情報発信件数(累計)			
		3件	6件(9件)	6件(15件)	
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課		【 098-866-2337 】	関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	バイオコミュニティ運営事業			予算事業名	バイオコミュニティ運営事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	委託		10,366	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	委託	9,350
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
県内外のイベントに参加し、企業等の研究成果の情報発信に取り組み、県内企業の事業化・事業拡大を促進した。				県内外のイベントに継続的に参加し、企業等の研究成果の情報発信および関係機関との連携体制の構築に取り組む。		

活動指標名	情報発信件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
		-件	-件	3件	3件	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

「県内バイオ関連企業、関連施策の情報発信件数」の目標値「3件」に対し、実績値「3件」であることから、順調と判断した。県内外の関係機関と連携を図り、企業の事業化の加速につながった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
-	展示会での情報発信だけではなく、研究発表の場も創出することで、各関係機関に情報を発信できるよう活動した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	健康・医療分野の関係者が多く参加するイベントへの参加機会を増やす必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	健康・医療分野のイベントで研究発表を行い、事業化・事業拡大につながるよう企業に対して支援を実施する。
		⑤ 情報発信等の強化・改善	県内外の各拠点とのネットワークを構築し、産学医が連携できるようマッチング支援体制の強化を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施策	③健康・医療分野を軸とした産業拠点の形成
			施策の小項目名	○関係機関との連携や産業拠点の整備
主な取組	県外の関係機関との連携		対応する成果指標	バイオ関連企業等の企業数
施策の方向	<p>・高付加価値な製品開発やサービス提供の可能性が期待される健康・医療分野のバイオ関連産業については、バイオベンチャー企業をはじめ研究機関や医療機関等と連携し、IT・物流等の周辺産業も含め、研究開発から製造販売まで一連で事業展開が可能な機能等を有した産業拠点の整備に取り組めます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
健康・医療分野のバイオ関連企業の事業化・事業拡大を促進するため、各地域のバイオコミュニティとのネットワーク構築に取り組み、他地域と連携した企業マッチングや共同研究の推進を図る。	県	バイオ産業拠点、バイオコミュニティ等との連携		
		連携機関数(内訳)		
		6機関	8機関(新規2機関、継続6機関、累計8機関)	10機関(新規2機関、継続8機関、累計10機関)
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課 【 098-866-2337 】		関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	バイオコミュニティ運営事業			予算事業名	バイオコミュニティ運営事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	委託		10,366	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	委託	9,350
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
<p>全国バイオコミュニティ連絡会議等を通じて各地域と今後の連携を確認したほか、各地域の取り組みに関して情報共有を行い、ネットワークを構築した。</p>				<p>各地域のバイオコミュニティとの連携強化を図り、県外イベントへの参加や企業マッチング機会の創出に取り組む。</p>		

活動指標名	連携機関数 (内訳)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		-機関	-機関	7機関	6機関	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

「バイオ産業拠点、バイオコミュニティ等との連携機関数」の目標値「6件」に対し、実績値「7件」であることから、順調と判断した。県内企業のマッチング及び共同研究を推進し、企業の事業化加速につながった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
-	県外のバイオコミュニティと相互間で視察を実施するなど、今後の連携体制に向けて活動した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	県外への情報発信を促進するために、他地域のバイオコミュニティと連動したイベントの実施について検討が必要。	⑤ 情報発信等の強化・改善	他地域のバイオコミュニティと連携を密にし、企業連携・資金確保等を目的としたイベントを実施する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施策	③健康・医療分野を軸とした産業拠点の形成
			施策の小項目名	○関係機関との連携や産業拠点の整備
主な取組	拠点整備計画等の策定		対応する成果指標	バイオ関連企業等の企業数
施策の方向	・高付加価値な製品開発やサービス提供の可能性が期待される健康・医療分野のバイオ関連産業については、バイオベンチャー企業をはじめ研究機関や医療機関等と連携し、IT・物流等の周辺産業も含め、研究開発から製造販売まで一連で事業展開が可能な機能等を有した産業拠点の整備に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
健康・医療分野を軸とした新たな産業拠点の形成に向けた拠点構想や基本計画を策定するため、調査等とおして拠点のあり方や具体的な整備内容・手法等について検討する。	県	拠点整備計画等の策定			
		拠点構想の策定	基本計画策定に向けた調査		
		実施	実施	実施	
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課		【 098-866-2337 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	健康・医療・バイオ関連産業拠点形成推進事業			予算事業名	健康・医療・バイオ関連産業拠点形成推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	11,046	9,964	県単等	委託	11,306
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
<p>本県のバイオ関連産業の現状や課題を整理し拠点構想を策定した。また、拠点構想を踏まえたニーズ調査等を行い拠点に必要な機能等を検討した。</p>				<p>新たな産業拠点に関する基本計画を策定するため、これまでの調査結果を踏まえ、より具体的な整備内容や整備手法等について調査をとおして検討する。</p>		

活動指標名	拠点構想の策定		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	—	—	実施	実施	100.0%	順調	<p>本県における健康医療分野のバイオ関連産業の現状や課題を調査やヒアリングによって整理し、令和4年7月に拠点構想を策定した。さらに、市場調査等を行い拠点に必要な機能等について検討した。</p>

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

目標値である拠点構想の策定が完了したため、進捗は順調と判断した。拠点構想を策定したことにより、令和5年度以降は拠点構想の実現に向けてより具体的に検討を進めることができる。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
—	<p>拠点構想の実現に向けて、幅広く意見を収集するため、県内に限らず県外企業に対してもヒアリングを行い、本県に求められる拠点の機能等について検討を進めることができた。</p>

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑥ 他地域等の動向 (外部環境の変化)	新たな産業拠点の形成するにあたり、他地域での関連事業の進捗状況を踏まえて検討する必要がある。また、拠点整備に向け各種法規制対応や費用の確保等の検討が必要である。	⑥ 変化に対応した取組の改善	他地域で実施されている産業用地整備などの動向を踏まえ、新たな産業拠点に必要な機能を慎重に検討する。また、実施計画の策定にむけて、各種法規制や費用面で実現可能性の高い計画を検討する。